

## 地域医療を支える人材確保について

中国部会提出  
説明担当 周南市

急速に少子高齢化が進展する中、2025年にはいわゆる団塊の世代が全て75歳以上となる超高齢化社会を迎える。こうした中、医療や介護が必要となっても、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らすためには、地域住民にとって身近な医療提供体制の構築が喫緊の課題である。

そのため、地域医療に関わるすべての関係者が、地域医療の抱える課題を正しく認識し、地域全体で限りある医療資源を守り支え合う意識を醸成することが重要となることは言うまでもないが、地域医療を最前線で支える質の高い人材の確保は今後最優先で取り組まなければならない。

については、国に対して、地域医療を支える人材の確保について、下記のとおり要望する。

### 記

- 1 明確な医師需給見通しに基づく医師確保の基本方針を定め、計画的な医師養成を進めるとともに、効果的な地域別・診療科目別の医師偏在是正策に取り組むこと。
- 2 産科や救急医療等、過重労働を強いられる診療分野での労働環境の改善を図るための支援や医療補償制度の拡大などにより業務負担軽減対策を図ること。
- 3 看護師・助産師等医療を支える専門職の養成・確保及び地元への定着等を図るため、養成機関や研修体制の充実、勤務環境の改善等適切な措置及び財政措置を講ずること。